

2023（令和5）年度

第26回福岡県小中特別支援学校事務職員研究大会 開催要項（1次案内）

- 1 大会テーマ 学校づくり新時代 ～事務職員だからできること～
- 2 目的 近代的学校づくりの原点である学制の制定から150年を経て、新しい時代の学校づくりが始まろうとしている。「回顧」「巡検」「共創」「挑戦」「結実」「伝播」の6つのキーワードのもと、学校内外の動向や新しい手法を紹介したい。事務職員一人ひとりが新たな可能性を見だし、行動に踏み出すきっかけにしていきたい。
- 3 主催 福岡県小中特別支援学校事務職員研究会
- 4 後援(予定) 福岡県教育委員会／福岡市教育委員会／北九州市教育委員会
- 5 期日 令和5年12月15日（金曜日） 受付 9：30～
- 6 会場 クローバープラザ 春日市原町3丁目1－7（TEL:092-584-1212）
- 7 参加方法 会場参加ならびにオンライン参加
※オンライン参加については、第4分科会のみ参加となります。
- 8 参加者 市町村立学校事務職員、教育委員会事務局職員及び教育関係機関職員

9 日程

9:30	10:00	10:30	12:00	13:00	14:00	16:30
受付	開会行事	記念講演	昼食	研究展示	分科会	

※オンライン参加は13:00より接続開始予定

- 10 内容 別紙1（全体会および分科会のご案内）をご覧ください。
- 11 参加申し込み
- (1) 申込方法 第2次案内にてお知らせします。
- (2) 申込期間 10月中旬以降の予定です。
- (3) 参加費(予定) 会場で参加される方 2,000円
オンライン接続で参加される方 500円
※福事研会員ならびに県下教育関係機関職員の方は無料です。
- 12 その他 研究集録の配信や当日の参加方法については、申込み時にご入力いただくメールアドレスにお知らせしていく予定です。同様の情報を福事研webでも掲載いたします。詳細は第2次案内でご確認ください。
- 13 問合せ先 福事研事務局長 戸渡 絵梨（那珂川市立岩戸北小学校）
TEL:092-952-4883 n-iwatosho-daihyou@city-nakagawa.ed.jp



子どもたちが夢を抱き、将来に向かってはばたける学校づくり

FUKUOKA

別紙Ⅰ 全体会・分科会のご案内

記念講演

10:30~12:00

考えよう！
学校が誕生して150年、変わりゆく使命
 古賀市立歴史資料館長 杉村幸一さん

学制の制定から150年が経過し、県内においても創立150周年を迎える学校も出てきました。地域の願いを受けて誕生した学校はどのような歴史を辿ってきたのでしょうか。校長先生を歴任され、数々の企画展を手掛けて来られた古賀市歴史資料館の杉村館長をお招きし、お話をいただきます。

歴史に学ぶ能力は人類の叡智と言えます。具体的な資料とともに歴史的事実を客観的に振り返り、時間軸を自身の感覚で文脈に応じて整理しなおす力は、社会生活を行う上でも、働く上でも、ひいては学校運営においても非常に役立ちます。時代の変化を微細に感じ取り、どのように学校の未来を形づくるべきかアドバイスをいただきましょう。

1 F クローバーホール 定員280名

回顧

研究展示

13:00~14:00

見て回ろう！
A2用紙の数々
分科会のおすそ分け

申し込んだあとに、ほかの分科会の様子が気になることはありませんか。各分科会の内容をポスター展示でご紹介します。

ゲストの方、ポスターの作成者が近くにおられる場合は、お話を聞いて、質問するのもよいと思います。分科会の各会場で足をお運びいただき、目で見、耳で聞いて分科会の雰囲気を感じましょう。

分科会各会場

巡検

第1分科会

14:00~16:30

集まろう！
ポスターセッションの魅力

九州女子大学人間科学部講師 木村葉太さん
 福岡女子商業高等学校キカク社社長 リコピンさん
 同副社長 みやはなさん
 九州大学総務部総務課長もしくは共創学部担当課長さん

研究部員の調査研究、会員やゲストのみなさまからいただきました取り組みを1枚1枚のポスターにまとめました。広いホールと横の通路を使ってたくさんの数を貼り出します。研究展示の時間を使って、どうぞ見て歩いてください。興味深い題材では、説明の方に質問してみるのもいいでしょう。

分科会の時間では、今回実施しましたポスターセッションの魅力と実際の感想についてお話をいただきます。作成者、観覧者の両方に収穫があるのがポスターセッションのいいところです。ぜひこの機会に体験してみましょ。この分科会に参加するとホールの展示をゆっくり見ることができます。

1 F クローバーホール 定員200名

共創

第2分科会

14:00~16:30

イキイキ・ワクワクと働こう！
越境型人材に話を聞く

福岡女子商業高等学校長 柴山翔太さん
 長崎市立池島小中学校事務職員 相良伸介さん
 元放送作家・PRプランナー 木村公洋さん
 福岡県立武蔵台高等学校事務長 井上亮一さん

昨今、越境という言葉が注目されつつあります。急速な社会の変化、組織の停滞、複雑で現代的な課題の解決のためには、異なる領域に身を置き、両者をつなぎ、組織の壁を打ち破る行動力で、新しい価値を創出する人材が求められているためです。一緒に働いてなぜかイキイキ・ワクワクしてしまう相手にはそのような魅力が秘められています。

今回は、各方面より魅力的なゲストの方にお越しいただきました。いろんな角度からエピソードをお聞きし、参加者がインタビューをする時間も設定したいと思います。今までにないやり方で、百聞も一見も両方手にしてしましましょう。

5 F セミナールームAB 定員100名

挑戦

第3分科会

14:00~16:30

私にもできた！
あなたのまちの共同学校事務室
に愛称をつけるワークショップ

佐世保市立浅子小中学校事務職員 宮本隆宏さん
 株式会社スチームシップ社長 藤山雷太さん

組織やプロジェクトを始めるとき、一番大きな難関が「名前をつける」ことです。繰り返し口にするため、その後のすべてに影響します。命名は他人にお願いできますが、自分たちで選ばないといけません。言わば最も身近なマネジメント。

何かの努力をした成果を掲げるのは簡単です。その取組みに先回りして名前をつけるとしたら…、案外難しいものです。あなたのつくる「事務だより」に名前はありますか？ 今回は、ネーミングセンスとそれを定着させる方法についてゲストの方にお話を伺いながら、ファシリテーターの悩みにお付き合いする簡単なワークを実施したいと思います。

5 F 501研修室 定員80名

結実

第4分科会（オンライン併用）

14:00~16:30

広げよう！
ショートプレゼン復刻版
裏番組方式

志免町立志免中学校事務職員 木村 淳
 (福事研究部MGマネジメントグループ)

学校事務誌に連載していたシュールさんが久々の登場です。今回は、かつて好評でしたショートプレゼンをzoom形式で復活させます。(参集会場でもご覧いただけます)

会員や県外の方にご用意いただいた15分のショートプレゼンを連続で実演していただきます。質問や協議に参加したい人は、ブレイクアウトルームにお越しください。もちろん、次のプレゼンを見られませんが、少人数の濃密な15分間の協議に参加することができます。究極の選択ですね。もうオンライン研修が退屈だなんて言わせませんよ。

オンライン接続 定員300名
 5 F セミナールームC 定員50名

伝播